

環境・福祉委員会 平成26年度～27年度活動報告書

平成27年6月5日

宇都宮商工会議所  
会頭 北村光弘様

環境・福祉委員会  
委員長 仲田俊夫

本委員会は、平成25年11月1日に開催された「平成25年度臨時議員総会」において設置が承認され、平成26年度から委員会が所管する事項について調査研究を進めてまいりましたが、このほど環境に関する調査研究が終了しましたので、その経過と結果について報告いたします。

## 環境・福祉委員会 委員名簿

委員長	仲田俊夫	(仲田総業(株)代表取締役)
副委員長	増田武見	(環境整備(株)代表取締役)
委員	松本典文	(北関東産業(株)代表取締役)
委員	瓦井成	(光機材(株)代表取締役社長)
委員	小林高行	((株)東武宇都宮百貨店代表取締役社長)
委員	藤本達也	(日本通運(株)宇都宮支店支店長)
委員	保坂正裕	(ブリヂストンタイヤ栃木販売(株)代表取締役社長)
委員	中島理	(ミュキ建設(株)代表取締役)
委員	廣田鶴男	(元気寿司(株)相談役)
委員	野口和孝	(マ・マーマカロニ(株)取締役社長)
委員	堀内忠	(東京瓦斯(株)宇都宮支社支社長)
委員	森野良幸	((株)キガ代表取締役社長)
委員	横山幸子	(横山法律事務所所長)
委員	朝稲文江	((株)ステップワーク日光代表取締役社長)
委員	岡崎善胤	((株)不二ドライ代表取締役社長)
委員	善林隆充	((株)マルゼン代表取締役社長)
委員	平典子	((株)たいらや代表取締役社長)
委員	安齋幸	(トランセンス(株)代表取締役)
委員	金田秀壽	((株)ニッカネ代表取締役会長)
委員	小矢島重男	(宮ビルサービス(株)代表取締役)
委員	田村哲男	((株)田村忠設計事務所代表取締役)

以上 21 名

## 目 次

I	委員会開催経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	1 委員会の開催と内容	
	2 使用した資料等	
II	アンケート・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
	1 平成26年6月実施「環境改善活動等の実施に関するアンケート調査」 調査票と集計結果	
III	提言・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
	1 主旨	
	2 現状と課題	
	3 提言内容	

## I 委員会の開催経過

### 1 委員会の開催と内容

平成 26 年度

#### (1) 第 1 回 (平成 26 年 5 月 13 日 (火))

ア 環境・福祉委員会研究テーマについて協議

イ その他

※会議内容

「環境」「エネルギー」「高齢者・子ども・障がい者福祉」の 3 つのテーマからエネルギーとの関連も含めて「環境」をメインに取り上げることとし、次回、行政（宇都宮市）から担当者を招き、市の取り組みなどについて説明を受けることを決めた。

また委員会メンバー企業等の環境対策について、アンケートを実施することとした。

#### (2) 第 2 回 (平成 26 年 7 月 15 日 (火))

ア 環境改善活動等に関するアンケート調査結果について

イ 宇都宮市における環境政策事業等について

ウ 研究テーマについて協議

※会議内容

当所議員をはじめ 207 事業所に対するアンケート集計結果、及び宇都宮市からの環境政策事業等の説明を受け意見交換を行った。

次回も、宇都宮市から担当者を招き、市が掲げる CO2 削減・緑化等、環境負荷の少ないまちづくりについて我々に何ができるのか、何が望まれているのか等再度の協議検討と、メンバーである東京瓦斯が行っている環境対策に関する取組事例の説明を受けることを決めた。

#### (3) 第 3 回 (平成 26 年 11 月 4 日 (火))

ア 宇都宮市「環境負荷の少ないまちづくり」への具体的な取り組みについて

イ 東京瓦斯の環境活動について

ウ 研究テーマについて協議

※会議内容

宇都宮市、東京瓦斯の説明後協議検討、宇都宮市が美しく住みやすい街となるように、「ゴミ等をなくすための運動」の展開等をはじめ

め、行政が実施する各種政策の周知・啓発等への協力支援等を決めた。

平成 27 年度

(1) 第 1 回 (平成 27 年 4 月 23 日 (木))

ア 研究テーマ「環境」についての活動報告について

イ 今後の委員会活動について

※会議内容

会頭への提言を踏まえ意見交換、提言書(案)の内容で概ね了承を得、後日活動報告とともに正副委員長より会頭へ提出することを決めた。最終的な内容、時期については正副委員長一任とした。

また現メンバーでの委員会活動が残り 1 年 6 か月ほどあるため、新テーマ「福祉」について研究することを決めた。

2 使用した資料等

平成 26 年度

(1) 第 1 回 (平成 26 年 5 月 13 日 (火))

ア 委員会メンバー表

イ 委員会研究テーマについて(案)

(2) 第 2 回 (平成 26 年 7 月 15 日 (火))

ア 環境・福祉委員会アンケート集計結果

イ 宇都宮市の環境政策～持続可能な環境都市うつのみや～

ウ 身近な再生可能エネルギーの活用術

エ もったいない運動 UTUNOMIYA

(3) 第 3 回 (平成 26 年 11 月 4 日 (火))

ア 事業所におけるエネルギー利用の効率化促進に向けて

イ 廃棄物対策課・研修用資料

ウ ごみ減量課・研修用資料

エ 美化推進重点地区・路上喫煙等禁止区域(パンフレット)

オ 事業者向け省エネセミナー(チラシ)

カ 東京ガスの環境活動 2014

## Ⅱ アンケート調査票と集計結果

### 1 平成26年6月実施「環境改善活動等の実施に関するアンケート」調査票

#### (1) アンケート内容

以下の設問について該当するもの全てについて、□にレ点を記入してください。

##### 1 環境への影響を減らす取り組み

太陽エネルギーの利用【ソーラーシステム 太陽光発電 その他  
( )】

その他のエネルギーの利用 ( )

電気使用量の削減【休憩時間時消灯 長時間離席や不使用時のパソコン電源オフ

クーラビズ等の採用 省エネ機器の導入 その他 ( )】

##### 2 グリーン購入の実践

エコマーク商品や再生材料製品の購入  その他 ( )

##### 3 公害抑制について

大気汚染防止設備  悪臭防止設備  排水処理設備  防音・防振設備  その他  
( )

##### 4 包装について

包装（包装紙・容器・食品トレイ）の簡素化  レジ袋の削減推進  その他  
( )

##### 5 運搬について

共同配送・帰り荷の確保など物流システムや自動車利用の合理化  地元産利用による流通経費の削減  その他 ( )

##### 6 自動車について

エコドライブの実践（アイドリングストップ 急発進の排除 急加速等の排除）

環境負荷の低い車両の導入（低燃費車の導入 ハイブリッド車の導入 電気自動車の導入）

その他 ( )

7 環境経営システムについて

I S O 14000 の取得  エコアクション 2 1 取得  その他 ( )

8 従業員への環境に関する教育について

職場教育の徹底  研修への参加  エコ検定合格の推進  その他 ( )

9 地域社会プロジェクトについて

地域清掃美化活動への参加  事業所施設周辺の美化活動  その他 ( )

10 取組を推進する上での課題について

設備等の導入や更新費用  業務量の増加  サービスの低下  その他 ( )

11 取組を推進するための必要な支援について

補助金制度の創設又は増額  特典等の付与  マニュアル化  その他 ( )

12 上記以外で、地産地消、ゴミ分別、LED化など環境に配慮した取組みがございましたら、ご記入をお願いいたします。

※集計結果 (別添「環境・福祉委員会アンケート集計結果」平成 26 年 7 月参照)

### Ⅲ 提言

#### 1 趣旨

企業にとって、地球温暖化、廃棄物、自然環境といった環境問題への対応は喫緊の課題であり、環境対策事業への取り組みは、企業が存続し、発展（効率化、コスト削減、イメージ向上等）する上での重要な要素となっており、実施に当たっては、企業利益のアップにつなげることはもとより、温暖化ガスの排出削減、省資源、省エネルギー、リサイクル、グリーン調達の推進、地域環境美化などの社会的責任を果たすためにも積極的な取り組みが求められている。

そのため、当委員会としては、「環境対応なくして企業の発展なし」との考えに立ち、環境に対する充実策をテーマに検討を重ねたところである。

#### 2 現状と課題

当委員会が、当商工会議所の議員企業を対象に昨年度実施したアンケート調査によれば、多くの企業が環境対策に一定の取り組みを実施していることが認められたが、企業間での取り組みに温度差が見られたところである。

また、当商工会議所が環境対策事業として制度化しているものとして、『環境保全意識の啓発を促すための「環境にやさしい優良企業認定制度（目標 500 事業所に対し、現在 300 事業所）」』、『宇都宮市との協働実施による簡易な制度である「事業所版環境 I S O 認定制度（目標 50 社に対し、現在 35 社）」』、『環境省による中小企業が取り組みやすい「エコアクション 2 1 認証・登録制度（目標 150 社に対し、現在 111 社）」』を実施しているが、現在、啓発活動や研修等の取り組みは特に行っていない。

更に、宇都宮市の調査によれば、事業系ゴミに関し、「近年の排出量増加、4 割程度の資源化できる紙の混入」等が明らかになっており、そのフォロー調査として昨年度実施した「環境に関する事業所アンケート調査」によれば、大企業より中小企業の取り組み、特に小規模事業者の取り組みの遅れが見て取れる。

一方、2020 年には東京オリンピック、2022 年には栃木国体が開催され、世界、国内各地から多くの人たちが宇都宮を訪れる。この大きなイベント開催を絶好の機会として、ゴミのない街、おもてなしの街、美しい街などの良いイメージを持ってもらうための総合的な取り組みを今から行い、継続していかなければならない。

こうした観点から、当委員会としては、次の事項について提言する。

### 3 提言

(1) 中小企業、特に小規模事業者は、環境対策の必要性は理解しつつも実施に至らない最大の理由として、資金確保、投資と効果の検証がある。

また、環境対策推進に係る国等の補助制度はあるものの中規模以上の企業が対象となるような内容となっており、小規模事業者は使いづらい。

そのため、簡易な設備等の導入や更新費用等の短期的なコスト増加を軽減し、小規模事業者も取り組む意欲が出るようなインセンティブを与える支援、例えば、小規模事業者を対象とした補助金等の創設、中小企業を対象とした補助金の増額、エコアクション21認証・登録制度等を取得した企業に対する入札等への特典の付与、積極的に取り組んだ事業所の表彰制度の創設など、宇都宮市等の行政機関への働きかけも含め、当商工会議所として積極的な対応を図られたい。

(2) 環境対応の重要性、必要性の意識啓発、コンセンサスの共有化を徹底されたい。また、天地人等での情報提供はもとより、ポスター作製・掲示、環境啓発・実践の強調月間の設定、研修会やパネルディスカッション等による環境学習活動機会の提供の充実を図られたい。

(3) 様々な環境循環型企業経営行動は、企業の社会的責任を果たすためにも重要である。企業は、誇れるまちづくりへの貢献や地域コミュニティ構成員としての役割を担っている。現在も、CSR活動として実践しているものの一部の企業に止まっている。

そのため、身近なところからできる事例集等作成など、宇都宮独自の運動として継続的に展開していただきたい。